

5月のびぎやム

活動をサポート

4月27日、プロセスグループ夢民舎の宮本富子代表取締役会長より、早来フェリーレFCに対し、クラブ運営とサッカー大会の運営資金として協賛金が手渡されました。

受け取ったキャプテンのシューマツカー・マシュー君は、「大会では優勝を目指して頑張りたい」と力強い返事で、感謝の気持ちを表しました。



安心安全を祈って

4月28日、瑞穂ダムでの水難事故や水資源に恵まれることを祈願する「瑞穂ダム水神宮祭」が行われました。

瑞穂ダムの水と環境を守る会代表阿部修一氏は、「近年、水災での痛ましい事故が多数起きており、昨年は十勝地方に台風による大規模な災害があった。改めて自然の恐ろしさを感じており、今年も穏やかな一年になることを祈っている」と話されていました。

アサヒメロン初出荷

5月7日、安平町の特産品である「アサヒロメン」の初出荷が安平町野菜集出荷場で行われました。

生産者は、追分アサヒメロン組合の林出一樹さん、二又哲雄さんの2名。計71箱が出荷され、翌日8日の札幌中央卸売市場では、昨年同様15万円（1箱5玉入り「秀」ランク）で取引されました。

生産者によると、今年度は糖度が高く質の良いアサヒメロンになっているとのことでした。



地域で守る子どもの笑顔

12日、下校する児童が安全に帰宅できるようにと地域で活動を行う子どもサポート隊の活動が今年も始まりました。

追分地区では5月から10月まで通学路の交差点に立ち、子どもたちを見守り、早来地区でも同様に、通学路で児童・生徒を見守るサポート隊が活躍します。

サポート隊の皆さんには、元氣よく挨拶する子どもたちの笑顔が一番の活力ですね。



生涯学習を目指して

12日、高齢者ふれあい大学の開講式が追分公民館で行われました。この取り組みは、町内における高齢者の健康維持と生きがいを求める目的で、毎年開講されているもので、今年度は10回程度の活動が予定されておりあります。

開講記念公演として苦小牧在任の楽器演奏者「ここペリーな&おっしー」によるコンサートが開かれ、音楽の魅力に触れたひと時を過ごしました。

